

令和4年度 学校マネジメントシート

学校名 (木本高等学校 全日制)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の良さを伸ばしながら、目標や夢の実現に向けて努力を続ける生徒を育成します。 ○地域に誇りを持ち社会に役立つ人を育み、「地域に信頼される学校」をめざします。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の夢や目標をしっかり持ち、その実現に向けて努力を続ける生徒。 ○学習や部活動に積極的に取り組み、自分の良さを伸ばそうとしている生徒。 ○地域に誇りや愛着を持ち、世界を舞台に活躍する力を持った生徒。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す学校像実現に向け、連携の意識と向上心を持ち、自分の良さを活かして仕事をする教職員。 ○授業を大切にし、生徒の学力向上と進路希望実現に努め、生徒の良さを引きだそうとする教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<ul style="list-style-type: none"> ○生徒：進路実現に向け、学力向上と的確なキャリア教育、進路指導をしてほしい。 ○保護者：毎日楽しく学んで成長し、進路希望を実現させてほしい。 ○進学先：目的意識が明確で、意欲的に学ぶ学生がほしい。 ○就職先：素直で元気が良く、向上心と粘り強さを持った人材がほしい。 ○地域社会：高校生力を活かして、地域を活性化したい。 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者：子どもを理解し、それを踏まえた教育をしてほしい。安全安心な学校作りを進めてほしい。 ○中学校：卒業生(本校への入学生)や高校の様子、入試に関する情報を知らせてほしい。 ○地域社会：地域行事や住民活動、防災の取組等で、高校生に活躍、協力してほしい。 ○進学先：基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。 ○就職先：社会人として必要なコミュニケーション能力を育成してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ○保護者：本校の教育活動に理解、協力をしてほしい。特に、家庭でのしつけと学習環境の確保に努めてほしい。 ○中学校：基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。 ○地域社会：生徒の成長を温かく見守り、本校の教育活動に協力、支援してほしい。 ○進学先、就職先：体験活動の実施や情報収集等キャリア教育を中心に、本校の教育活動に協力、支援してほしい。
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ○ICT環境の整備状況を踏まえ、ICT活用や学習方法の工夫により、指導力向上と授業改善に努め、「主体的、対話的で深い学び」を推進してもらいたい。 ○生徒数減、部活動の縮小が進むなか、アピール力を再認識し、地元新聞、ホームページ等で情報発信に努めてもらいたい。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>入学生のほとんどは熊野市・南牟婁郡管内の生徒で、少子化や地域外の高校への進学等の影響を受け、志願者確保が難しい状況が続いている。</p> <p>地元中学校や地域への情報発信、連携・信頼関係の深化の取組を強化、継続し、特色化・魅力化を更に推進する必要がある。特に、多様な進路希望の実現と部活動へのニーズや期待に応え、結果を出していくことが重要である。</p>	

学校 運営等	<p>多様なニーズに的確に応え、きめ細かくていねいな指導で、生徒一人ひとりが充実した高校生活を送れるようにするとともに、教職員の総勤務時間の縮減にも取り組む必要がある。校外との連携・協力を深め、教職員間の情報や意識の共有を図り、組織的・効果的な教育活動を行うとともに、業務の効率化を図ることが重要である。特に、進学に向けた指導を充実させ、進路希望の実現を図る必要がある。</p>
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人ひとりの意欲を高め、学力を伸ばす。 2 生徒一人ひとりと向き合い、規範意識を高める。 3 生徒一人ひとりに応じて、細やかな進路保障に努める。
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> 1 全教職員が連携して授業改善とキャリア教育をすすめ、生徒の学力向上と進路希望実現に努める。 2 教職員が意欲的に充実感を持って仕事に取り組めるよう、連携・協力の態勢を強化し、業務内容の見直しと効率化をすすめ、総勤務時間を縮減する。 3 地域等のニーズ把握と連携、PRに努め、教育活動を改善し、地域からの信頼を深める。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
一人ひとりを大切に した安心安全の 学校づくり	<p>○生徒一人ひとりの状況を把握し、教員間で共有する。</p> <p>【活動指標】学級担任による個人面談等を実施する。</p> <p>【成果指標】年間3回以上。</p> <p>【活動指標】生徒個々の状況を学校全体で共有する会議を開催する。</p> <p>【成果指標】年間、定期的に5回以上、臨時に必要回数。</p> <p>○生徒の「命を大切に作る心」を育む。</p> <p>【活動指標】命について、生徒が考える機会を多く設ける。</p> <p>【成果指標】講話、講演会等を年間3回以上実施。</p> <p>○いじめを許さない学校風土を定着させる。</p> <p>【活動指標】いじめについての生徒アンケートを実施し、その結果を分析・確認、教員全体で共有する。</p> <p>【成果指標】学期3回以上。</p> <p>○学校全体で人権意識を高める。</p> <p>【活動指標】人権LHRを実施する。</p> <p>【成果指標】年間3回以上。</p> <p>○防災に対する意識を高め、災害時の対応力を高める。</p> <p>【活動指標】防災訓練、防災に関する講話等を実施する。</p>		

	<p>【成果指標】年間3回以上。</p>		
学習指導	<p>○生徒一人ひとりの意欲を高め、生徒の学力を伸ばす。</p> <p>(1)授業を大切にす姿勢を学校全体で示す。</p> <p>【活動指標】チャイムと同時に授業を開始する。教員はチャイム前に教室に到着する。</p> <p>【成果指標】チャイムと同時の授業開始が生徒調査で100%。</p> <p>(2)進路希望実現に向けて、3年生対象の補習授業を積極的に展開する。</p> <p>【活動指標】授業日、長期休業中に補習授業を行う。</p> <p>【成果指標】授業日と長期休業中に5教科の補習授業を行う。</p> <p>(3)自主的学習の意欲を高め、個々の状況に合った個別学習を支援する。</p> <p>【活動指標】生徒が自分に適した学習について考える機会を多くつくとともに、それに沿った学習を定着させる。</p> <p>【成果指標】Webを利用した個別学習の1人あたり平均受講講座数各学期5回（年間15回）。</p> <p>(4)「新学習指導要領」「大学入学共通テスト」に対応した学習指導の改善を進める。</p> <p>【成果指標】学校全体での共通した取組2件以上。</p>		
生徒指導	<p>○生徒一人ひとりと向き合い、生徒の規範意識を高める。</p> <p>(1)ルールと挨拶を大切にす姿勢を学校全体で示す。</p> <p>【活動指標】登校指導を原則全授業日に学校全体で分担して行い、服装頭髪の確認と挨拶をする。</p> <p>【成果指標】規定とおりの頭髪服装で登校し、挨拶をする生徒が90%超。</p> <p>(2)全教員が一致協力して指導の徹底を図る。</p> <p>【活動指標】イエローカードの活用等で頭髪服装、携帯電話等の指導を徹底する。</p> <p>【成果指標】規範意識が高まったと実感する生徒が95%超。</p>		
進路指導	<p>○生徒一人ひとりに応じて、きめ細やかな進路保障に努める。</p> <p>(1)生徒の進路意識を高め、早期の進路目標設定とその実現に向けた指導を強化し、卒業時の進学先に対する満足度を高める。</p> <p>【成果指標】進学決定者の進学先に対する満足度90%以上。就職：卒業時の内定100%。</p> <p>(2)生徒一人ひとりの状況を把握し、教員間で共有する。</p> <p>【活動指標】1, 2年生対象の学力・学習力に係わる研修会を開催する。</p> <p>3年生対象の個別検討会を開催する。</p> <p>【成果指標】年間2回以上。</p>		
改善課題			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教職員の 資質向上	<p>○教職員の指導力、課題への意識を高める。</p> <p>(1)他者からの視点を活かして、授業力を高める。 【活動指標】授業を公開し、参観者の感想を全教職員で共有する。 【成果指標】授業公開期間を年2回設定。 【活動指標】生徒対象の学習アンケートを年度前半と後半に実施する。 【成果指標】授業満足度が前半より後半が5%以上向上。</p> <p>(2)進路指導力を高める。 【活動指標】進学指導の校内研修、勉強会を開催する。 【成果指標】年2回以上。</p> <p>(3)「命を大切にすることを育む教育」の指導力と意識を高める。 【活動指標】“命を大切にすることを育む教育”の校内研修を開催する。 【成果指標】年1回以上。</p> <p>(4)法令遵守、信頼向上の意識を高める。 【活動指標】生徒への体罰・セクハラに関するアンケートを実施するとともに、法令遵守の校内研修を開催する。 【成果指標】アンケート、校内研修とともに、年3回以上。 【活動指標】校外の事例を全教職員で共有する。 【成果指標】年10件以上。</p>		◎
地域等との 連携強化	<p>○地域のニーズ把握と信頼関係深化に努める。</p> <p>【活動指標】本校教職員が地元小中学校教員・三重大学東紀州サテライト教員と直接情報交換、意見交流する機会を多くつくる。 【成果指標】本校教職員と小中学校教員・三重大学東紀州サテライト教員が直接交流する機会年間のべ20回以上。 【活動指標】本校生徒の様子を直接見ってもらう機会を多くつくる。 【成果指標】生徒の活動の様子の公開3回以上。</p>		

働きやすい 職場づくり	<p>○総勤務時間を縮減する。</p> <p>(1) 総勤務時間縮減の意識を高める。</p> <p>【活動指標】定時退校日を月に1日設定する。</p> <p>【成果指標】定時退校日に定時退校した職員の割合80%以上。</p> <p>【活動指標】会議を効率化し時間を短縮する。</p> <p>【成果指標】60分以内に終了する放課後の会議の割合80%</p> <p>(2) 超過勤務を縮減する。</p> <p>【活動指標】業務を精選・効率化・分散化する。</p> <p>【成果指標】時間外労働時間月間45hおよび年間360hを超える職員0人。</p> <p>(3) 休暇取得を増やす。</p> <p>【活動指標】夏季休暇を完全取得する。</p> <p>【成果指標】1人あたりの休暇取得1日/年増。</p> <p>(4) 他の教育活動とバランスのとれた計画的な部活動を行う。</p> <p>【活動指標】各部毎に、休養日を週に1日設定する。</p> <p>【成果指標】休養日を月4日以上実施した部の割合100%。</p> <p>○教職員間の連携意識を向上する。</p> <p>【活動指標】各会議に(議事とは別に)情報交換、現況報告の時間を確保する。</p> <p>【成果指標】職員会議を除く全会議に確保し、全員が発言。</p>		※
学校の将来像 の具体化	<p>○学校を取り巻く状況の変化に対応し、学校の具体的な将来像を定め、準備を開始する。</p> <p>【活動指標】将来像を協議する場を設け、教職員の共通理解に努める。</p> <p>【成果指標】将来像を協議する会議5回以上。</p>		※
改善課題			

5 学校関係者評価

明らかに なった 改善課題と次へ の取組方向	
---------------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動に ついての改善策	
学校運営に ついての改善策	

